

# 第7次地域保健医療計画 令和2年度取組実績及び令和3年度実施計画

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・医療機関・各団体)

## 別紙1 令和2年度調査票（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、各団体）

## 第7次地域保健医療計画の令和2年度取組実績及び令和3年度実施計画調査票

## 1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、維持期までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。
- ・ 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」（以下「とねっと」という。）利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	市内脳ドック実施はその通り 又、回復病床の充実にも行田総合病院を中心になされている	○市内3病院において脳ドックを実施 ○市内2病院で急性期の治療を行っているが今後は回復病床の充実が望まれる。	会長
		南埼玉 郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診25,013件を実施した。	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		行田中央総合 病院	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）51件 ○脳ドック 251件 ○栄養指導（前年比 34.7%減）	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○脳ドックの実施 ○栄養指導の推進	健康管理 センター 栄養科
		行田総合病院	○脳ドック、LOXIndex検診、頭痛外来を継続実施し、広報にてこれらの受診の啓発をおこなった。 ○外来にて高血圧の方への栄養指導を実施した。	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	○院内健康講座に関しては、コロナ禍の影響の為当面中止となった。 ○広報誌などの発刊などを行い概ね実施できた。	院内健康講座・院外医療公演等により地域の方へ健康への意識を高めてもらえるように実施・公式777公式ホームページを有効活用していく。 検診を行うことでの早期治療を開始できるように患者さんに手の届きやすい情報発信を行っていく。	事業部・健康 管理センター
		新久喜総合病院	○脳ドック受診等数の増加 ○コロナ禍にて健康教室未開催	○単独脳ドックの推進(MRI検査・頸部超音波検査) ○広報誌による啓蒙活動	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○健診センターにおいては、採血結果を当日に確認し、医師と連携し、異常値の受診者については、当日に指導、受診勧奨ができる体制をとっている。 ○高血圧、脂質異常、糖尿病、心臓病、腎臓病を対象とした保健指導を実施。脳ドックを月・火・金曜日に実施。	○健診結果で抽出された高血圧、脂質異常、糖尿病、心臓病、腎臓病を対象とした保健指導を実施し、必要に応じて受診勧奨する。	健診センター
		蓮田病院	※健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨、小冊子配布。 ※院内ディスプレイによる脳ドックの推進。 実績(MRI/A) 119件	※広報活動を行ない脳ドックの推進	検診センター 経営企画室

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○看護の日・白岡祭り・院内での健康相談・公開講座はコロナ自粛により中止。 ○上期は健診自粛でしたが、下期は感染対策防止を万全にし、受診しやすい体制を取り、下期1,277件増となった。	○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発。 ○健診結果にて有所見者に対し、二次検査を案内し、早期治療による重症化予防を図る。	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○学術講演会、地域医療セミナー等を通じて顔の見える連携体制の強化を計る。 ○「とねっとカード」を救急時に活用し脳卒中急性期の治療開始の時間短縮を計る。 その観点から住民の「とねっと」への加入増加に努める。	理事
		行田市医師会	参加している	行田総合病院が参加。	会長
		行田総合病院	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークへの連携病院として参加を継続するとともに、地域の医師向けに脳神経外科ホットラインの電話番号を案内し、救急や近隣病院からの患者受入れをおこなった。	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークへの連携病院として参加	救急部門 医師
		中田病院	○3医療機関主催の連携会議へ出席登録	○脳卒中急性期病院での情報交換会への参加	地域医療連携室
		羽生総合病院	○概ね計画通り実行できた。	救急科・脳神経外科の診療科をはじめ、関係する委員会・部署同士で連携して充実を図っていく。	事業部・ 救急委員会
		新久喜総合病院	○患者及び健診受診者への「とねっと」参加の啓蒙 ○コロナ禍にて病診連携の会や救急隊との症例検討会における意見交換未実施。	○地域医療ネットワークシステム（とねっと）への協力 ○院内ポスター掲示、広報誌による啓蒙活動	地域医療課
		済生会栗橋病院	○埼玉県の急性期脳梗塞治療ネットワークに引き続き加わり、医療機関と消防機関が連携する仕組み作りに協力した。	○県の急性期脳梗塞治療ネットワークにはすでに加わっており、tPA投与治療及び血栓回収治療可能な施設として治療に当たっている。今後は、圏域内の他の医療機関と連携して、当番日を設定する各医療機関の脳外科医の負担を軽減しつつ、圏域の脳梗塞治療の充実に努める。	診療統括部
		蓮田病院	※埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークに連携病院として継続。 ※埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会情報交換会参加→コロナ禍にて中止	※埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会等に参加し、地域医療機関との脳卒中連携パスの運用を実施予定。	地域医療連携室 経営企画室
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○埼玉脳卒中地域連携研究会（2021年2月17日/3月4日）出席。 ○脳卒中連携パス実績 33件	○地域医療機関との連携の会への参加・情報交換 ○脳卒中連携パスによる連携強化	地域・医療連携部

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○各医療機関から患者様に丁寧な情報提供を行うように努める。 ○加須市医療診断センター（加須市設立・加須医師会受託運営という日本で唯一の形態を持つ。かかりつけ医からの紹介患者様のみを対象とするCT・MRI・マンモに特化した医療機関）における脳ドックの普及に努める。	理事
		行田市医師会	情報提供している	市報やパンフレットにより脳ドックの情報提供。	会長
		埼玉歯科医師会	○計画どおり実施	○地域連携病院との関係強化	
		行田総合病院	○ホームページや病院広報誌、連携だよりなどでの情報提供	○ホームページや病院広報誌などでの情報提供	地域医療連携室
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への啓発及び情報提供	羽生総合病院	○外来待合ホールに資料設置のコーナーを設け概ね実行できた。	院内健康講座・院外医療講演にて積極的に啓発活動を行う。 さらなる情報充実を図る為、定期発行している広報誌・又電子媒体を有効活用し、外来患者さんにも手の届くように近いところから情報発信を行っていく。	広報委員会 情報室 関係職員
		新久喜総合病院	○コロナ禍にて連携の会、救急症例検討会、健康教室未開催。 ○院内ポスターの掲示。	○地域サロンの訪問、広報誌による啓蒙活動 ○院内ポスターの掲示	地域医療課
		済生会栗橋病院	○脳卒中ホットラインを活用し救急隊との連携を強化した。	○市民講座等において治療成績等を提供し、啓発を図っていく。 ○救急隊との勉強会等において、さらに連携及び周知に努める。	地域連携課
		国立病院機構東埼玉病院	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○市の老人福祉センター及び市内の自治会館への出前講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、運動指導等の啓発を行う。	リハビリテーション科・地域医療連携室
		蓮田病院	※地域の医療機関へ受入の情報提供を行った。 ※ホームページにて健康セミナー（題目「脳卒中をどう考えるか」）の掲載。	※ホームページ、広報紙等で情報提供に努める。 ※院内掲示、ディスプレイにて脳卒中の初期症状等の情報提供。	地域医療連携室 経営企画室
		堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減	
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○ホームページ、「診療案内」パンフレット、病院広報誌など適宜更新、また地域医療機関への情報提供や院内掲示にて案内を行った ○救急隊との連携強化を目的に脳外科疾患受入れについての情報交換を実施した(10/6、10/13)	○診療案内の更新 地域医療機関や施設への発信 ○病院広報誌にて住民へ脳卒中に対する啓蒙活動を行う	地域・医療連携部

## 2 糖尿病医療

(目標)

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、標準的な糖尿病教育プログラムが受けられるような医療機関を増やします。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の管理栄養士等のスキルアップと指導の標準化を図るため、市町、医師会が協力して地域として糖尿病教育の質が向上するような研修会を実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	各医療機関で協議、協力している 勿論指導にも協力	各医療機関で特定健診に協力している。 今年度より特定保健指導にも協力している。	会長
		埼玉葛歯科医師会	○計画どおり実施	○特定健診の充実を図る。	
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	健康相談等を紹介し、食事・運動療法に関する啓発活動	食事・運動療法に関する啓発活動を行う。	
		行田中央総合 病院	○特定健診 976件 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進（前年比 34.7%減）	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進	健康管理 センター 栄養科
		行田総合病院	○特定健診の受入れを行い、糖尿病治療が必要な方に対してかかりつけ医または当院での外来受診を促した。 ○広報誌やホームページで特定健診の案内をおこなった。	○特定健診受入体制の充実を図る ○特定健診に対する病院広報誌での情報提供	健診担当 広報
		中田病院	○特定健診 635件 ○産業医活動 9社	○特定健診の受診勧奨 ○産業医による訪問・指導	健康推進課
		羽生総合病院	○院外医療講演に関してはコロナ禍の影響で延期・中止であったが、その他に関しては概ね実施出来た。	既存で健康診断を行っている企業様へ保健指導の強化を行っていく。 院外医療公演にて受診を促していく。院内のイベントで特定健診（成人病医健診も含む）へ繋がるように医療相談を積極的に開催し充実を図っていく。	健康管理 センター
		新久喜総合病院	○保健指導の件数増加・特定健診の休日実施	○特定健診・休日実施日の前年度比増	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○特定健診や生活習慣病予防健診の受診者については、コロナ禍ではあったものの、保健師がメタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、必要に応じて受診勧奨や保健指導を勧めた。 ○特定保健指導予防健診受診者2807名中、特定保健指導対象者519名、積極的支援該当者349名、動機づけ支援該当者170名、特定保健指導実施件数110件、積極的支援指導実施件数75件、動機づけ支援指導実施件数35件、受診勧奨108名	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、医師や保健師から詳細な説明と二次検診の必要性について案内する。	健診センター
新井病院	○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	○市民講座にて特定健診受診の啓発活動 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	看護部 総務		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	蓮田病院	※院内ディスプレイにて特定健診の推進 実績：市の特定健診 998件 社保特定健診 148件	※広報活動を行ない特定健診の受診推進。	検診センター 経営企画室
		秋谷病院	○外来待合に特定健診受診案内の掲示 ○かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	○外来待合に特定健診受診案内の掲示 ○かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	医局 事務部
		堀中病院	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	○管理栄養士による栄養指導の推進 ○特定健診の受診推奨 ○特定健診の受け入れ強化	
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合病院	○看護外来のお知らせ・案内を健診結果に同封 ○糖尿病性腎症重症化予防対策として、対象者に保健指導を案内、2名を特定保健指導に繋げた。	○受診者全員に対し、糖尿病認定看護師による無料相談の案内 ○地域住民に対し、院内外への掲示、パンフレット配布、インターネットでの案内などによる、特定健診への積極的な受診勧奨を行う。	健康管理課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力すると共に、協会けんぽの同事業にも協力する。	理事
		行田市医師会	薬剤師会の積極的な協力もあり、医療機関の協力を得ている	各医療機関が協力。	会長
		羽生市 歯科医師会	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	○糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示 ○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	DM性腎症重症化予防事業への参加	薬局における継続支援（フォローアップ）の実施 研修に参加	
		行田市薬剤師会	令和2年度は231名測定し、20名を受診勧奨しました。	引き続き行田市、行田市医師会、行田市歯科医師会の協力・連携の元、会員中12薬局で検体測定室（HbA1c）を実施。必要な方は受診勧奨し適切な医療を受けていただくことで、重症化を予防できる。	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病関連医薬品のオンライン研修会参加	○糖尿病性腎症重症化予防対策の研修会参加	
		行田中央総合病院	○糖尿病透析予防プログラムの拡充を図る ○行田市、行田市薬剤師会で実施している市内薬局でのHbA1c測定で、数値が高値の方の受入れ実施	○糖尿病透析予防プログラムの拡充 ○行田市、行田市薬剤師会で実施している市内薬局でのHbA1c測定で、数値が高値の方の受入れ	外来他
		羽生総合病院	○院内・院外医療講演に関してはコロナ禍にて中止であったが、栄養指導に関しては概ね実施できた。	院内健康講座・院外医療講演を通じて糖尿病予防活動を行っていく。月に一度の栄養指導も継続して行っていく。	事業部・ 栄養科

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	新久喜総合病院	○健康教室等における地域住民への啓蒙を予定していたがコロナ禍にて未実施。 ○医師・保健師による保健指導の充実	○健康教室・地域サロン訪問時の啓蒙 ○地域への巡回健診における予防・ポスター配布	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○生活習慣病重症化予防対策事業において、保健指導対象者の選定に協力している。	○健診や外来にて蛋白尿を指標にして糖尿病性腎症の拾い上げを積極的に実施する。腎臓内科と協力して、腎臓内科受診を勧奨する。	診療統括部
		蓮田病院	※栄養サポートチームを設置。 ※外来・入院共に栄養指導による介入。(実施回数:240回) ※健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨、小冊子配布。	※糖尿病性腎症の併発予防として、透析予防診療チームの発足。 ※健康診断にて有所見に対して外来受診勧奨。	検診センター 栄養科 経営企画室
		白岡中央総合病院	○看護外来や教育入院時に、療養指導等を行った。	○ポスターや広報誌で腎症重症化予防の啓蒙活動を行う	看護部 (糖尿病認定看護師)
		秋谷病院	○生活習慣病重症化予防対策事業に該当する患者に対する事業説明の実施	○生活習慣病重症化予防対策事業に該当する患者に対する事業説明の実施と啓発	医局・事務部
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	行田中央総合病院を中心に、在宅、フレイル、認知症等 講演	市の依頼により講演会に講師を派遣。	会長
		行田中央総合病院	○院内イベント世界糖尿病デイにおいてPR活動 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実を図る ○フットケア外来の拡充を図る	○糖尿病患者会活動を通じた啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○糖尿病教育入院の実施 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○フットケア外来の拡充	関係各部署
		中田病院	○医師と糖尿病療養指導士・管理栄養士が中心となり患者指導を実施 ○教育入院の受け入れ	○糖尿病患者への入院中から退院時における指導の充実(栄養・予防) ○多職種でのチームカンファレンスの実施 ○糖尿病教育入院	医師・栄養士・看護科
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍にて中止となった ○患者待合室などにポスターを掲示し上発信を概ね実行できた。	糖尿病教育入院の実施並びに医療講演、糖尿病教室を開催。予備軍などで指導が必要な方で栄養指導を受けていない方等へ情報発信を行っていく。	事業部・栄養科

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病患者の教育プログラムの充実	済生会栗橋病院	○外来等において糖尿病患者教育プログラムの定期的な啓発活動を行っている。	○常勤の糖尿病専門医が赴任しており、今後、外来及び病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催	○糖尿病教育入院パス及び資料を見直し情報を共有化 ○年間2回の糖尿病教室を開催 ○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催	多職種
		国立病院機構 東埼玉病院	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施した。	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施する。	機能回復部門 （栄養管理室）
		蓮田病院	※入院栄養指導を通して介入（実施回数：30回）	※糖尿病指導チーム発足。 ※糖尿病教育入院のプログラム及びパスの整備。	栄養科 経営企画室
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域糖尿病 センター
		白岡中央総合 病院	○看護外来 88件 ○糖尿病教育入院 15件	○看護外来の継続 ○糖尿病教育入院パス活用	看護部 （糖尿病認定 看護師）
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	「とねっと」の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。また、当医師会共催の講演会を通じ医師会員の「とねっと」普及への啓発を行った。	○「とねっと」の更なる普及に邁進する。	理事
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり実施	○「とねっと」の普及と活用の周知を徹底する。	
		北埼玉 歯科医師会	○「とねっと」推進協議会への参加	○「とねっと」推進協議会への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○「とねっと」の普及と活用の周知を徹底。	○「とねっと」参加の促進	会長
		羽生市 歯科医師会	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	○「とねっと」説明会への参加 ○「とねっと」作業部会に部員を派遣 ○「とねっと」へ会員入会の促進	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	「とねっと」への参加・普及活動	「とねっと」への登録・普及活動	
		行田総合病院	○とねっとに参加して、当院での検体検査結果データの共有を継続実施した。	○とねっとに参加して処方内容や検査データの共有を図る。	



実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	「とねっと」の推進	中田病院	○院内掲示にて啓発	○登録への啓発活動	
		羽生総合病院	○とねっと加入推進を概ね実施できた	院内における掲示物で啓発活動を行う。また院内のイベント毎に担当者を招待して、とねっと加入を促進していく。	事業部
		新久喜総合病院	○ポスター掲示等による院内での啓蒙活動。 ○ドック受診者への啓蒙 ○新入職員等への啓蒙	○ポスター等掲示による患者への啓蒙活動 ○ドック受診者の増加（前年度比125%） ○新入職員への周知活動	健康管理センター 地域医療課
		済生会栗橋病院	○とねっと事務局スタッフが来院し、外来患者に向けて普及啓発活動を行っていたが、今年は、ポスターによる普及啓発活動の実施。	○住民登録及び加入医療機関の拡大に向けて効果的な広報活動を実施する。今後、ITネットワークを活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築する。	システム課
		国立病院機構 東埼玉病院	○協議会主催の総会・各種部会及びシンポジウムへの参加を果たすとともに、同会議等に出席の各医療機関等と情報交換を行った。 ○とねっと事務局の市民健康講座参加者への説明は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	○連携する医療機関と定期的な情報交換会の参加等の実施	地域医療連携室
		蓮田病院	※システムワーキンググループへの参加。 ※ポスターでの普及啓発活動の実施。 ※とねっと事務局と共同して院内に臨時窓口を設置し加入促進→コロナ禍にて中止。	※広報活動を行ない「とねっと」加入の推進。 ※「とねっと」情報交換会等に参加。	地域医療連携室 経営企画室
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	地域糖尿病 センター
		秋谷病院	○とねっとの使用方法・登録方法院内研修（一部の部署）の実施	○とねっとの使用方法・登録方法院内研修（一部の部署）の実施	事務部
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職のスキルアップ	北埼玉医師会	当医師会主催の講演会を通じ医師会員のスキルアップに貢献した。	○当医師会主催の学術講演会等を通じ会員の糖尿病治療のスキルアップを計る。	理事
		行田市医師会	保健センターでのアドバイスも同様に行っている	○保健センターでの特定保健指導についてアドバイスを行う。	会長
		北埼玉 歯科医師会	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会員
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	講習会への参加	糖尿病治療に関する講習会への参加	
		羽生市薬剤師会	○糖尿病治療と医薬品オンライン勉強会の実施 ○糖尿病簡易検査の準備	○糖尿病治療と医薬品講習会の開催 ○糖尿病簡易検査勉強会の開催	
		行田中央総合 病院	○講習会への参加	○各種研修会、講習会への職員の参加促進	診療部 看護部 技術部

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病治療及び保健指導を担う専門職のスキルアップ	中田病院	○各研修会へ参加。年1回の院内伝達講習実施（COVID-19にて中止）	○糖尿病に関する研修会への参加、未参加職員への伝達講習実施	
		羽生総合病院	○e-learningを活用し勉強会の開催は実行できた ○コロナ禍の影響で勉強はネットを活用したものとなった。	職員を対象とした勉強会を開催し、スキルアップ・知識増加を促す。また院外の勉強会へ関係職員を積極的に参加出来るように促していく。	診療部門・ 教育委員会・ 事業部
		新久喜総合病院	○関連研修会への参加（WEB参加）	○関連研修会への参加（WEB参加を中心とする。）	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○糖尿病に関する専門性を高めるための研修を実施した。	○常勤の糖尿病専門医が赴任しており、院内研修として糖尿病に関わる勉強会を実施する。	診療統括部
		新井病院	○糖尿病教育をテーマとした看護協会の研修に参加	○埼玉利根医療圏地域糖尿病ネットワーク研究会の参加及び専門研修会に参加し、質の向上を図る	多職種
		蓮田病院	※糖尿病療養指導士による院内研修→コロナ禍にて中止。	※Web研修などに参加、質の向上を図る。	看護部 栄養科 経営企画室
		白岡中央総合病院	○院内研修4回開催	○糖尿病治療・看護に関する院内研修の開催を行い職員のスキルアップを図る ○学会・研修会へ参加し、最新情報を糖尿病療養支援チームで共有し、質の向上に努める	看護部 (糖尿病認定 看護師)

### 3 在宅医療の推進

(目標)

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括的かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICTを活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員など医療と介護の各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 「とねっと」利用に必須である「かかりつけ医カード」の取得者の増加、システム利用機関の拡大等に市町、医療機関、医師会など関係機関が協力して取り組みます。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○引き続き加須市・羽生市から事業委託を受け、北埼玉医師会立北埼玉在宅医療連携室（平成30年度から受けている）が在宅医療・介護連携する業務を実施する。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	実施計画通り行い、医師会内は纏まりある 行政よりの補助等必要と思われる	○在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼し、同病院を核として連携医療機関が在宅医療を行う。 ○月1回在宅連携医療機関が医師会館で情報交換会を行う。	会 長
		南埼玉 郡市医師会	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、国立病院機構東埼玉病院と連携して、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行った。 ○在宅医療研究会は、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止とした。	○平成30年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、国立病院機構東埼玉病院と連携して、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行う。また、年2回（9月、2月）在宅関連多職種を対象とする在宅医療研究会を開催予定	会 長

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	北葛北部医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の医療介護資源把握等のためのアクトリフの実施</li> <li>○在宅医療・介護マップの情報更新</li> <li>○地域の情報収集（アンケート調査）</li> <li>○ケアカフェ（オンライン開催）（10回実施、参加者延314名）</li> <li>○地域包括ケア会議（11回開催、参加者延134名）</li> <li>○在宅医療カフェ（事例検討）の実施</li> <li>○ICTシステム活用における情報共有方法（セキュリティホリゾン）の作成と運用（キャラバン活動によるICT使い方周知等普及活動 訪問活動延186件）</li> <li>○市民の集い（オンデマンド配信、1回実施）</li> <li>○暮らしの保健室（地域住民主体のサロン等）の活動（開催177日、相談件数760件、参加者1,391名）</li> <li>○地域まるごと電話相談の実施</li> <li>○みんなのカフェ（7回実施、参加者延89名）</li> <li>○住民主催の地域ケア会議（1回実施、参加者延30名）</li> <li>○住民へのパンフレットの発行</li> <li>○在宅医療・介護連携推進会議への協力（2回、9名参加）</li> <li>○菜のはなチャンネル（YouTube）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の医療・介護の資源の把握</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及啓発</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携</li> </ul>	在宅医療 連携拠点 事業推進室
		埼玉葛飾歯科医師会	○計画どおり実施	○埼玉葛飾地区拠点窓口の活動強化	
		行田市 歯科医師会	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	○行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	理事
		加須市 歯科医師会	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	○在宅医療、介護連携推進委員会への参加	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代 薬剤師会	多職種連携会議（ケアカフェ）に参加	在宅医療・介護連携推進に関する会議、研修会への参加	
		行田市薬剤師会	照会中	照会中	
		行田中央総合 病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅療養支援病院として、連携する4医療機関との連携強化</li> <li>○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化をおこなった</li> <li>○訪問看護ステーションとの連携強化を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅療養支援病院として、連携する4医療機関との連携強化</li> <li>○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化</li> <li>○訪問看護ステーションとの連携強化</li> </ul>	地域連携室 看護部
		行田総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅機関へ定期訪問し、広報誌や連携だよりによる診療体制の情報提供をおこなった。</li> <li>○MSWにより早期介入を行い、地域のケアマネへの入院連絡や退院支援時に在宅機関とのカンファを実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅機関との定期的な情報交換</li> <li>○入院時からの早期退院支援の実施</li> </ul>	地域医療 連携室 MSW
		中田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○MSWによる在宅退院への支援</li> <li>○退院前ケア実施による、在宅サービス事業者との情報共有を積極的に実施</li> <li>○地域の介護事業者との連携の会へ参加（COVID-19にて自粛）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪問看護ステーションを中心とした情報交換の促進</li> <li>○MSW・退院支援看護師が在宅サービス事業者と入院から退院時まで積極的に情報交換を行う</li> <li>○各地域連携の会へ参加</li> </ul>	訪問看護 ステーション・ 看護部・ リハビリ科・ 地域医療連携室
羽生総合病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○概ね実行できた。</li> <li>○連携を行っている施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。</li> <li>・院内で関わる部署間のスムーズな連携</li> <li>・事業所で行っている当院では行えていない業務を吸収して機能の向上を図っていく。</li> </ul>	在宅支援診療 部・相談室		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	新久喜総合病院	○コロナ禍にて病診連携の会を通じ外部施設との意見交換未実施。 ○院内にて関係職種によるカンファレンスの実施	○在宅医、訪問看護ステーション、ケアマネとの意見交換、関係職種によるカンファレンスの実施	地域連携室
		済生会栗橋病院	○入退院支援課の専任看護師とMSWが共働してケアマネージャーとの連携を密に行い訪問診療の医師に情報提供し患者の入院中も連携を取り合う事により密な連携体制を構築した。	○訪問看護ステーションのスタッフは医師会又は市町村主催の介護医療連携の会に出席する。	入退院支援課
		国立病院機構 東埼玉病院	○平成30年度から在宅医療サポートセンター事業を開始し、相談件数114件の対応に当たった。	○平成30年度から、南埼玉郡市医師会と連携して「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、各市町及び地域包括センターとの定期的な連携を図るとともに、在宅医療・介護連携に関する業務運営を行う。	総合診療科
		蓮田病院	※退院調整会議（地域医療連携室、MSW、病棟師長）にてカンファレンスを実施	※インターネット機器を用いて、ケアマネージャーとの連携を行い情報を共有し、在宅療養を支援する。	地域医療連携室 看護部 経営企画室
		蓮田よつば病院	居宅支援事業所を開設し、同法人内において、認知症治療病棟、重度認知症デイケア、訪問看護ステーションに次いで、より認知症患者様の在宅療養支援の連携体制を強化していく形ですすめた。	○施設への訪問診療や近隣クリニックとの連携を強化する。 ○認知症カフェや認知症予防教室の開催にて認知症予防の取り組みを強化していく。 ○在宅サービスとの連携を強化していくためにも外来機能の取り組み強化を図る。	経営企画室
		秋谷病院	○受入病院として取り組み内容について、院内で説明を実施	○地域包括ケア病室の整備を目標に体制構築を推進する。	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	※在宅医療提供体制充実支援事業において、3病院と登録医19名による在宅医療連携システムを実施。登録患者8名 ※サポートケア入院 9名（延べ人数） ※地域包括ケアワーキング 年間 12回開催 152名参加	○在宅医療機関と入院医療機関の連携を推進 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケアワーキング」を定期開催	在宅医療連携 拠点事業 推進室
		白岡中央総合病院	○地域包括ケア病棟（14床）では、レスパイト入院相談連携窓口の確立し、レスパイト入院を地域から直入60件の連携をはかった。 ○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（2回/年） ○地域ケア会議 コロナ影響で開催されなかったため、不参加。	○ホームページ等での在宅療養後方支援病院についての広報活動 ○地域包括ケア病棟の地域連携強化と広報活動 ○地域医療連携センターの機能の充実 ○入退院支援の強化 患者支援体制の充実 ○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（3回/年） ○地域ケア会議 理学療法士（3回/年）（作業療法士12回/年）	地域・医療 連携部 リハビリテー ション技術科
白岡市食生活改善推進員協議会	○健康料理教室（介護食、低栄養） 「やさしい在宅介護食」より「自宅でできる介護食」の勉強会 講話「介護食を知ろう」「ゲートキーパーを知ろう」 ○埼玉県米料理教室の実施（43名） 食を通して生活習慣病予防に役立つ啓発を行った	○健康料理教室（食を通して健康づくり） ○母子愛育会との協働による託児付き料理教室 ○健康まつりへの参加（試食、展示） ○埼玉県米料理教室の実施（市民対象） ○低栄養予防や運動機能の維持向上の料理教室（市民対象） 「シニアカフェドリルメニューテキスト」より ○高齢者スキルアップ事業の実施	健康増進課		
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	北埼玉医師会	新型コロナウイルス感染拡大により、医療・介護関係者を対象にした研修会はオンラインで行った。	○ACP及び在宅緩和ケアの普及・啓発するための人材育成に関する会議及び研修会を開催する。	北埼玉在宅 医療連携室
		行田市医師会	行田中央総合病院が中心となり会議、研修を行った	○包括ケアの中心として多職種連携会議及び各種研修会を行う。	会 長
		埼玉葛歯科医師会	○左記のとおり	○地域連携病院との連携強化	
		行田市 歯科医師会	・地域ケア会議への参加	・地域ケア会議への参加	理 事

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	加須市 歯科医師会	○地域ケア会議への参加	○地域ケア会議への参加・助言	会 長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会 長
		行田中央総合 病院	○行田市医師会の在宅医療支援センターを受託運営。在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を行った ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに医師が参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力をした ○在宅における訪問栄養指導の実施をした	○行田市医師会の在宅連携拠点である在宅医療支援センターの運営を受託し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を進める ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングへの参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力 ○在宅における訪問栄養指導の実施	地域連携室等
		行田総合病院	○MSWやセラピストが多職種連携会議に参加して意見交換を行い、情報共有を図った。	○多職種連携会議や地域のケアマネ会へ参加、協力	地域医療 連携室 MSW
		中田病院	○リハビリ後の退院において、積極的に家屋調査を実施し在宅において、在宅サービス事業者と当院のリハビリスタッフ・MSWが意見を交換した（COVID-19の為必要最低限で実施）	○多職種による退院前カンファレンスの充実 ○退院後の患者支援のために退院支援看護師の設置 ○在宅での医療不安には訪問看護ステーションが対応する	看護部・リハビリ科・地域医療 連携室
		羽生総合病院	概ね計画通り実施した。	訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	在宅支援診療 部・相談室
		新久喜総合病院	○患者サポート窓口を設置しがん相談をはじめとした相談窓口にて、MSW・退院支援看護師との退院前カンファレンスによる退院支援を実施	○患者サポート窓口（がん患者支援センター含む）の充実 ○多職種による退院時カンファレンスの実施	地域医療課
		済生会栗橋病院	○在宅診療が必要な患者さんに対し、病院医師、在宅診療医師、ケアマネージャー、看護師等と退院前にカンファレンスを行った。	○退院後の患者さんの健康管理に向けて、当院及び地域の訪問看護ステーションと在宅診療医との連携を深める。	入退院支援課
		国立病院機構 東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○平成30年4月から開始した「雅楽谷の森訪問看護ステーション」においては、開設後、院内多職種との連携を密にするほか、地域への連絡会議等への参加や関係施設への訪問を行う等、地域の中での関係づくりを構築する活動も積極的に行った。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、引き続き、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。 ○平成30年度から訪問看護ステーションを開始し、看護師・医師と連携を密にし、病院から在宅への移行または状態変化時の病院の受け入れ態勢を円滑にする。	総合診療科（・ 訪問看護ステーション）
		蓮田病院	※医療メディエーター資格取得（追加1名） ※蓮田病院介護連携会議開催→コロナ禍にて中止。	※介護施設との意見交換、カンファレンス実施 ※医療メディエーターを育成し患者相談窓口の充実	地域医療連携室 看護部 経営企画室
		蓮田よつば病院	○認知症初期集中支援事業を蓮田市より委託を受け、実施。 ○病院としての認知症相談窓口を院内地域医療相談室内に設置し、在宅生活での困り事やケア相談の受付。	○認知症初期集中支援チームの活動促進。 ○院内における多職種連携カンファを定期的実施し、認知症患者様へのアプローチと結果についての見える化を図る。 ○認知症カフェや認知症予防教室の継続実施。	地域医療相談 室、診療技術室
東埼玉総合病院	照会中	○定期的学習会の開催 ○交流会「ケアカフェ」の定期開催 ○医療介護のさらなる連携へ向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	在宅医療連携 拠点推進室		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 歯科医師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	白岡中央総合病院	○入院前からの入退院支援の介入 入院時支援実績：553件/年 ○コロナ禍においても必要な多職種カンファレンスを開催し連携を図ることができた 介護支援等連携指導 実績：415件/年 ○コロナ影響により入院時訪問、退院時訪問実績なし。 ○動画を使用した、ご家族へのリハの進捗報告の開始。（4件/年） ○訪問リハビリ提供単位1353（回）/月	○入退院支援の強化 ○多職種協働によるカンファレンスの充実 ○可能となれば入院時訪問、退院時訪問の実施。（1件/月） ○動画を使用した、ご家族へのリハの進捗の報告。（2件/月） ○訪問リハビリ提供単位1383（回）/月	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○既に稼働しているMCSを用いた「北彩あんしんリンク」の更なる充実に努める。また新しくバージョンアップした「とねっと」の在宅医療・介護連携への活用にチャレンジする。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	行田中央総合病院が中心となり、導入され症例数も増えつつある	各医療機関でMCSを活用。	会長
		南埼玉郡市医師会	○医療介護連携用ソフト「メディカルケアステーション」の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図った。	○医療介護連携用ソフト「メディカルケアステーション」の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図る。	会長
		加須市歯科医師会	○メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	○メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	会長
		羽生市歯科医師会	○部員の派遣 ○勉強会への参加	○部員の派遣 ○勉強会への参加	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	「とねっと」「MCS」への参加・活用	MCS（メディカルステーション）を活用し、連携を図る。	
		行田中央総合病院	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用を進める	診療部 地域連携室他
		行田総合病院	○介護部門へタブレットを配布し、MCSを活用する方々との積極的な活用を促している。	○MCS活用の推進	
		中田病院	○MSCの活用 ○とねっとへの登録促進	○北彩あんしんリングへの参加 ○MCS（メディカルケアステーション）を活用し、連携を図る。	訪問看護ステーション・リハビリ科・地域医療連携室
		羽生総合病院	概ね計画通り実施した。	在宅支援診療部・介護支援専門員を通じて積極的に行っていく	在宅支援診療部・介護部門
		新久喜総合病院	○「とねっとシステム」利用者増加へ向けた啓蒙活動（患者・職員）	○「とねっとシステム」利用者増加へ向けた啓蒙活動（患者・職員）	地域医療課
済生会栗橋病院	○「とねっと」を活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築している。	○医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した診療体制を急性期に留まらず在宅や介護にまで広げシームレスな医療連携を構築する。	システム課		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる 在宅医療・介護 連携ネットワーク システムの推	国立病院機構 東埼玉病院	○メディカルケアステーションを引き続き活用したほか、普及啓発に向け、当院医師による各種会議等への説明を行った。	○メディカルケアステーションを引き続き活用し、さらに情報提供・周知・普及啓発を行う。	総合診療科
		蓮田病院	※「とねっと」を活用した情報共有、普及啓発活動。	※「とねっと」の普及活動	入退院支援室 経営企画室
		蓮田よつば病院	○MCS活用についての検討、協議する。	○引き続き、MCS活用への検討、協議を行う。 ○院内情報共有ネットワークの構築を検討、試行していく。	経営企画室
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	在宅医療連携 拠点推進室
		白岡中央総合 病院	○院内在宅支援部門内でMCSの運用開始し、活用が出来ている	○MCSの活用	経営企画課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の 推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○地域完結型医療の推進には市民の理解が不可欠である。そのためには「とねっと」への更なる加入促進、かかりつけ医を持つこと等を含めて市民に問いかけることを行政と伴に推進する。	会 長
		行田市医師会	各関係団体との連携並びに病診連携は行われている	歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護施設との連携及び病院との病診連携を行う。	会 長
		埼玉歯科医師会	○埼玉地区拠点窓口の活動強化	○埼玉地区拠点窓口の活動強化	
		杉戸・宮代 薬剤師会	地域ケア会議に参加・助言	地域ケア会議に参加・助言	
		行田中央総合 病院	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化を行った	○行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る ○行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化	地域連携室他
		行田総合病院	○近隣医療機関への定期的な訪問を実施して広報物などを活用し診療体制の情報共有を図った。 ○逆紹介を推進してかかりつけ医との連携をおこなった。	○かかりつけ医との連携強化 ○紹介患者の受入及び逆紹介の推進	地域医療 連携室 MSW
		羽生総合病院	○概ね計画通り実施した	・地域の医療機関との連携を強化する為に定期的に訪問し情報交換を行う ・かかりつけ医との連携を強化し、紹介患者の受入れや適切な逆紹介を行っていく。	在宅支援 診療部・相談 室・連携室
		新久喜総合病院	○コロナ禍にて連携の会等未開催。 ○院内にて関係職種によるカンファレンスの実施や地域医療機関を訪問し情報共有を図った。	○地域医療機関を訪問し当院の役割を説明するとともに情報共有を図る。	地域医療課
		済生会栗橋病院	○病病、病診連携については、コロナ禍、コロナ患者対応による一般病床の縮小もあり、前年度を下回る結果となった。	○地域医療支援病院として、病々連携と病診連携を促進し住民に対して切れ目のない医療を提供する。 ○他の急性期病院との補完性を高めるとともに、クリニック等との情報共有に努める。また、当院の診療科の整備を充実する。 ○陣容が変わった診療科については、アピールポイントを近隣医療機関に積極的に周知する。	地域連携課
国立病院機構 東埼玉病院	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	○蓮田市・白岡市・宮代町在宅医療・介護関係者連携会議等を通して、引き続き、多職種協働による在宅医療の支援体制等について検討を進めるとともに、顔の見える関係作りに取り組む。	総合診療科		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	地域完結型医療の 推進	蓮田病院	※病病連携、病診連携の強化、近隣医療機関等への訪問。 ※埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業における在宅療養支援ベッドの確保	※地域医療機関、介護施設との連携を強化、情報交換。 ※埼玉県在宅医療提供体制充実支援事業における在宅療養支援ベッド確保の継続	入退院支援室 看護部 経営企画室
		蓮田よつば病院	○認知症専門病院として、全身状態軽快後の認知症症状による在宅復帰が困難事例についての受け入れを強化し、認知症症状安定後に地域施設や自宅への退院を促進していくことを実践した。	○左記内容の継続的实施。 ○近隣クリニック、急性期病院等からの連携を強化し、認知症患者様のスムーズな地域移行に向けて迅速に対応できるよう調整する。 ○地域ケア会議への積極的な出席。 ○地域住民に対する認知症ケア、認知症予防活動の推進を図る。	地域医療相談室、診療技術室
		堀中病院	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たした。	在宅療養支援ベット受け入れ病院としての役割を果たす。	
		東埼玉総合病院	照会中	照会中	在宅医療連携拠点推進室
		白岡中央総合病院	○地域医療機関、施設への訪問 面会回数：240回 ○コロナ禍のため連携の会や交流会の開催は未開催(通常は年3回開催) ○病院救急車(D-ER)の活動を開始。近隣医療機関・施設との連携強化を構築した。 ○地域医療機関への高機能医療機器共同利用の推進及び病院機能の情報提供を行い、地域完結型医療の推進を図った。	○渉外活動を通じて地域の医療機関からの紹介と逆紹介件数の推進を強化する ○地域医療機関への高機能医療機器共同利用の推進 ○地域医療機関や介護施設等へ回復期病棟や地域包括ケア病棟の情報提供を行い、地域完結型医療の推進を図る。 ○入退院支援の充実のためケアマネジャーや訪問看護、在宅医療との連携を強化する	地域・医療連携部
秋谷病院	○バックベット事業の協力と中長期的な入院機能の継続を行った。	○中長期的な入院医療に対応できる病院機能を維持し、施設の入所とかけつけ医療を提供できる体制拡充していく。	医療連携室		

#### 4 健康づくり対策

(目標)

- ・ 栄養・食生活、運動、喫煙などの生活習慣に関する正しい知識の普及啓発を図り、生活習慣を改善して病気の発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 健全な食生活や健康的な生活環境の基盤づくりを進め、個人の健康づくりの取組を積極的に支援します。
- ・ ロコモティブシンドロームやサルコペニアの認知度を高め、低栄養や筋力低下の予防を推進します。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、的確な保健指導を着実に実施します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	参加協力した	市の関連会議に参加協力。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診25, 013件を実施した。	○会員医療機関において、特定健診28, 000件を実施予定	会長
		埼玉葛歯科医師会	○計画どおり実施	○8020高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化	
		行田市歯科医師会	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診(20~30代)の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診(20~30代)の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員



実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	加須市 歯科医師会	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯に及ぼす影響に関する予防や生活習慣の改善について保健指導（予防指導）を行った。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	○個別成人歯科検診 問診や検査に基づき、歯周疾患及び歯に及ぼす影響に関する予防や生活習慣の改善について保健指導（予防指導）を行う。 ○歯周病予防講座 歯周病専門医による講話。	島田 顕
		羽生市 歯科医師会	○生活習慣病予防（糖尿病と歯周病の関連性）についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	○生活習慣病予防（糖尿病と歯周病の関連性）についての市民対象の講習会に講師を派遣 ○高齢者大学へ講師を派遣	会 長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会 長
		杉戸・宮代 薬剤師会	産業祭中止	○杉戸町産業祭における血圧測定 健康相談会を実施	
		行田市薬剤師会	行田市ふれあい福祉健康まつりは、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	行田市ふれあい福祉健康まつりでかかりつけ薬剤師、薬物乱用防止啓発資材、ジェネリック関連資材などを配布する。	
		行田中央総合病院	○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣を行った ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣を行った ○地域の方を対象とした「サロン」を開催した	○院内イベントにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣 ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣 ○地域の方を対象とした「サロン」を開催し、健康相談等に応じる	関係各部署
		中田病院	○市民公開講座（COVID-19にて中止） ○こいのぼりマラソンコンディショニンググループを開催（COVID-19にて中止）	○公開講座の開催による市民への啓発	
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍により中止となった ○ポスターや広告を活用し概ね実施できた。	地域の住民を対象に医療講演を開催し、自身の健康について意識付けを行う。他医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化する。	地域連携室 事業部
		新久喜総合病院	○巡回健診における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及 ○健康教室において啓蒙活動を予定していたが、コロナ禍にて未実施。	○各種ドック等の推進、増加 ○巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化 ○健康教室での普及啓蒙活動	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○院外報などを活用し健康づくりに関する知識の普及啓発に努めた。	○「出張市民講座」や「すこやか市民セミナー」「健康相談」の場で、メタボリック症候群やがん予防・早期発見について情報提供を行う。	地域連携課
新井病院	○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	○地域のイベント（久喜市民祭り参加予定）に参加し生活習慣予防の啓発活動を行う ○市民講座を開催し、健康に関する正しい知識を習得 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	看護部 総務		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	国立病院機構 東埼玉病院	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○看護の日イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○地域住民に対する生活習慣病教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ○難病相談支援センター事業及びエイズホットライン事業における各種相談事業や県民及び院内外関係者に対する研修会を開催した。	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、生活習慣病予防等の啓発を行う。 ○看護の日イベントとして、地域住民への医療、お薬、栄養相談等を実施する。 ○「難病相談支援センター事業」及び「エイズホットライン事業」等において県との連携を強化するとともに、難病に対する支援体制の整備又は市民、関係者に対して研修会等を行う。	機能回復部門 (総合診療科他)、看護部、地域医療連携室、難病相談支援室
		蓮田病院	※ホームページ(健診セミナー)にて健康に関する情報の提供(12回/年)	※ホームページ等を活用した情報提供の提供。	診療部 経営企画室
		蓮田よつば病院	○特定健診の院内掲示、主治医による啓発活動を実施。 ○広報紙にて健康に関する記事を毎月掲載。	○左記内容の継続実施。 ○認知症カフェの継続実施。 ○認知症予防教室の継続実施。	地域医療相談室、診療技術室
		秋谷病院	○特定健診の院内掲示、主治医による啓発活動を実施 ○予防運動の推進掲示を実施	地域イベントへの参科や、院内掲示などで啓発活動を実施	看護部 地域医療連携室 事務部
		白岡中央総合病院	○看護の日・白岡まつりコロナ自粛により中止。 ○職員が白岡マラソンに参加し健康増進を予定していたがコロナ自粛により中止。 ○介護予防教室開催、認知症カフェ開催、コロナ影響により開催できず。	○看護の日のイベント、白岡まつりで、健康相談や特定健診、がん検診の案内を行う ○職員が白岡マラソンに参加し健康増進 ○介護予防教室開催(3回/年) ○認知症カフェ開催(3回/年)	健康管理課 リハビリテーション技術科
		新しらかが病院	○認知症初期集中支援チームの活動 認知症予防の啓発活動と認知症に関する正しい知識の普及	・認知症カフェに参加し、地域住民の相談窓口を構える ・地域のイベントに参加し、認知症予防の啓発活動を行う ・介護施設等にて講演を行い、認知症に関する正しい知識の普及を行う	地域連携室
		行田市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員養成講座の実施(5回) ○健康講話と調理実習を通じたリーダー研修の実施(5回) ・新型コロナウイルス感染の影響により回数を減らして実施 以下新型コロナウイルス感染の影響によるイベントの中止に伴い参加実績なし ○鉄剣マラソンに参加 ○田んぼアートに参加 ○食育講座に協力(1回) ○健康講座及び調理実習の実施と協力(4回) ○食改全体研修会の開催(1回)	○健康講話通じたリーダー研修の実施(8回) ○食改全体研修会の開催 新型コロナウイルス感染防止のため調理実習を伴う活動は、見合わせる	保健センター
		加須市食生活改善推進員協議会	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防(特に、糖尿病および高血圧予防)を行った。(81回、延べ1358人) ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨等を行った。(8回、延べ2125人) ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を行った。(123回、延べ3626人)	○推進員や市民を対象に講話や調理実習を通じて生活習慣病予防(特に、糖尿病および高血圧予防)を行っていく。 ○市イベントにおいて資料配布やポスター、呼びかけ、試食等を通じて野菜の摂取についての普及啓発や健診受診勧奨等を行う。 ○自主活動や出前講座等で子どもから高齢者までの食育活動を継続して行う。	健康づくり 推進課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進委員による調理実習、座学を通じた正しい食習慣の普及啓発(回数:37回、参加延人数:618人) ○市民福祉健康まつりにて、試食配布(600食)、野菜350gの重さ当てクイズ等を実施。	○食生活改善推進員による調理実習を通じた正しい食習慣の普及 ○市民福祉健康まつりにて、健康づくりに関する知識の普及・啓発	健康づくり 推進課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	健康づくりや生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発	羽生市健康運動普及推進員協議会	○健康運動普及推進員による運動の普及を実施 ・健康運動教室(延べ 5,435人) ・ウォーキング(延べ 195人) ・はつらつ教室(延べ 1,235人) ・市民オープン講座(延べ 14人) ・団体へのストレッチ体操等の教室(延べ1,843人)	○健康運動普及推進員による運動の普及	健康づくり推進課
		蓮田市食生活改善推進員協議会	○研修会「楽しく歩こう教室」は、新型コロナウイルスの影響で、会員のみで実施。(1回) ○親子食育教室は、新型コロナウイルスの影響で、会員のみで実施。(1回) ○役員会の実施(4回)	○健康まつりにて減塩みそ汁、野菜不足解消等、生活習慣病予防のアドバイスを対面と冊子を配布しながら行う。 ○年間を通じて、食の大切さを取り入れた予防教室を開催し、市民の健康意識を高める。	健康増進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○市(保健センター)からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の啓発を図った。 ・「骨の健康チェック」での試作品の展示 ・「生活習慣病予防講座」の開催 ・「カルシウム不足を改善して骨粗しょう症予防」の開催 ・「バランス栄養講座」の開催 ・「むし歯予防教室」の試作品の展示 ・「離乳食教室」の試作づくりの支援 ・「育児中ママのクッキング」の開催 ○市民団体等からの依頼事業を実施し、食を通しての健康づくりの啓発を行った。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導	○市(保健センター)からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発をする。 ・バランス栄養講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防教室の開催 ・生活習慣病予防開催 ・むし歯予防教室の協力 ・離乳食教室の試作づくりの支援 ・育児中ママのクッキングの開催等 ○市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発する。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・視覚障がい者グループ料理教室	中央保健センター
		幸手市食生活改善推進員協議会	○新型コロナウイルス感染症予防のため、健康福祉まつりは中止となった。 ○米料理教室を実施した。	○健康福祉まつりにて試食や展示を行い、生活習慣予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発 ○米料理教室の実施	健康増進課
		白岡市食生活改善推進員協議会	○埼玉県米料理教室の実施(市民対象)22名:会員8名、参加者14名) ○低栄養予防や運動機能の維持向上のために、シニアカフェドрилとメニューをテキストとして作成し配布(世代別生活習慣病予防のためのスキルアップ事業)(市民対象):会員9名、参加者13名 ○母子愛育会との協働による託児付き料理教室の実施:会員15名 ○健康まつりへの参加(生活習慣病、ロコモ予防食の試供品の提供) ○簡単健康レシピBOOK(1日の野菜350gを目指して)の利用(白岡市オリジナル)	○埼玉県産米料理教室の実施(市民対象) ○低栄養予防や運動機能の維持向上のために、シニアカフェドрил&メニューをテキストとして作成、配布 ○母子愛育会との協働による託児付き料理教室の実施 ○健康まつりへの参加「生活習慣病・ロコモ予防食の試供品の提供」	健康増進課
		宮代町食生活改善推進員協議会	○県産米の消費拡大や生活習慣病予防をテーマとした講話及びレシピの紹介を行った。	○バランスのよい食生活について普及啓発を行う。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー(1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満)の紹介を行う。	健康介護課
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○各種料理教室や地域健康づくりの牽引者を養成する「すぎと健康アカデミー」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定中止。	健康支援課

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	行田中央総合病院（他、関係医療機関）がかなり密度の高い予防講話を行っている	各学校に講師を派遣し、喫煙予防講話を行う。	会長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	市内小中高での薬物乱用防止教室での講演	薬物乱用防止活動を通して喫煙防止活動の実施	
		行田市薬剤師会	行田市ふれあい福祉健康まつりは、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	行田市医師会主催の健康フォーラム、行田市ふれあい福祉健康まつり、鉄剣マラソン会場などで呼気中一酸化炭素レベルを測定し、タバコや電子タバコの害を呼び掛ける。また、その様子を日本禁煙学会学術総会にて発表する予定。	
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進	羽生市薬剤師会	○薬物乱用防止教室を通じた飲酒喫煙防止教育への講師を派遣 ○会員薬局において禁煙等のチラシの配布を実施	○薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師を派遣 ○市内イベントでの禁煙啓発活動の実施	
		行田中央総合病院	○院内イベントにおける禁煙ポスター展示を実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○禁煙外来の強化を図った	○院内イベントにおける禁煙啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化	関係各部署
		中田病院	○敷地内禁煙の継続	○施設内禁煙の実施	
		羽生総合病院	○敷地内禁煙実施継続 ○医療講演、勉強会はコロナ禍にて中止	医療講演・院内健康講座を開催し、禁煙を促していく。また敷地内禁煙を継続し、職員へ禁煙啓蒙活動を行っている。	地域連携室 事業部
		新久喜総合病院	○敷地内禁煙及び患者・職員に向けての啓発ポスターの掲示 ○健康教室等における禁煙推進・啓蒙についてはコロナ禍にて未実施。	○ポスター等院内掲示 ○敷地内禁煙 ○巡回健診時における健康指導 ○健康教室等における地域住民への啓蒙活動	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○ウェブサイトを利用し喫煙者に対して禁煙外来を受診するように積極的に啓発している	○出張市民講座などで喫煙の有害性等を啓発していく。 ○外来等でも喫煙者に対して禁煙外来を受診するように積極的に誘導する。	地域連携課
		国立病院機構 東埼玉病院	○禁煙外来において、受診希望患者に対し禁煙指導を行った。（38件／年）	○外来診療枠に、毎週（木曜午後／予約制）禁煙外来を設け、受診希望の患者の禁煙指導を行っている。	呼吸器疾患部門
		蓮田病院	※敷地内全面禁煙の継続 ※禁煙外来の継続	※敷地内全面禁煙の継続 ※禁煙外来の継続	経営企画室
		堀中病院	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等	○敷地内禁煙の継続 ○産業医による面談等	
		白岡中央総合病院	○禁煙外来の継続。 ○敷地内禁煙継続。 ○職員への禁煙の推奨、喫煙ポスターを各部署に設置啓発。職員が禁煙外来を受診し、終了証を受領。	○禁煙外来の継続。 ○敷地内禁煙の継続。 ○職員への禁煙の推奨。	経営企画課 健康管理課
秋谷病院	○患者・職員向けの敷地内禁煙案内の掲示	○患者・職員向けの敷地内禁煙案内の掲示	事務部・医局		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	民間企業や地区組織などと連携した健康増進計画の推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○地域産業保健センターの運営主体として、埼玉県産業保健総合支援センターの指導のもと、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の労働者の健康増進、保健向上のための各種事業を行う。窓口健康相談会、サテライト健康相談、事業場訪問、面接指導、説明会、健康講話等。	理事
		行田市医師会	産保センターを通し相談を受けている	産業保健センターを通して中小企業の健診を進め、また、その結果について相談を受ける。	会長
		行田市 歯科医師会	○企業歯周病検診の実施	○企業歯周病検診の実施	
		行田総合病院	○産業医となっている企業や依頼を受けた企業に訪問して、健康指導や講演会実施した。	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導・講演会を実施	
		中田病院	○出張健診 20社 3745人実施 ○産業医として9社へ訪問	○産業医による訪問指導 ○出張健診（企業）の実施と二次健診受診への啓発	健康推進課
		羽生総合病院	○概ね実施できた。	産業医による定期訪問、指導を行う。 特定健診や企業検診の強化	事業部・健康管理センター
		新久喜総合病院	○コロナ禍にて健康教室未開催。 ○地域サロンを訪問し情報共有を実施。 ○企業健診等の推奨	○地域サロンを訪問し情報交換院を行う ○各種ドックや健康診断受診の啓発活動	地域医療課
		済生会栗橋病院	○パネル・ポスターによる普及啓発活動の実施。	○近隣の行政が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを構えることで、定期的に健康増進のための働きかけを行う。	看護部
		新井病院	○公共機関、民間企業の産業医として健康相談及び指導	○医師を企業に派遣し、健康増進のための講演指導を行う	医局
		蓮田病院	※企業健診の実施 ※蓮田市、久喜市、白岡市の人間ドック助成制度活用	※特定健診、企業検診の強化 ※ワクチン接種への協力	検診センター 経営企画室
		秋谷病院	○企業健診の実施 ○産業医活動の実施	産業医による保健指導の実施強化	看護部 事務部
白岡中央総合病院	○産業医による、受診後のフォローアップとして、有所見者へ二次検診を促進、ストレスチェック後面談・長時間労働者の面談を実施 ○白岡市地域はつらつ事業は、コロナ影響で開催されなかったため、不参加。）	○産業医による、受診後のフォローアップ強化。 ○白岡市地域はつらつ事業への参加（予定参加回数3回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	特定健診、特定保健指導の協力	市の依頼を受け講習会の講師を派遣。	会長
		行田市 歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	
		幸手薬剤師会	消費生活展での市民向け講演	市民向け講演会にて講演	会長

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	生活習慣病の早期発見、早期治療と的確な保健指導の推進	行田中央総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化	健康管理センター
		行田総合病院	○広報誌にて健診案内を掲載し、健康診断の実施を促すことで早期発見とその後のフォローを実施した。	○特定健診や人間ドックの充実	
		中田病院	○院内掲示の実施	○特定健診の更なる啓発活動	健康推進課
		羽生総合病院	○医療講演はコロナ禍による影響で中止 ○その他は概ね計画実行する事が出来た	・医療講演にて生活習慣病についての意識付け。 ・各種健診の案内と受診しやすい環境づくり ・外部講師を招いた専門的な医療講演を開催し、新しい角度から生活習慣病等の早期発見に繋がるように活動を行っていく。	健康管理センター
		新久喜総合病院	○巡回健診における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及	○各種ドック等の推進、増加 ○巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○生活習慣病に対する個別指導を保健師が実施。 ○対象者に電話、郵便等により、担当保健師が連絡をとり、指導が継続できるように個別に対応している。 ○ホームページ、院外報に案内を記載。	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を実施、また健診受診者を増やすべく広報活動に力を入れる。	健診センター
		新井病院	○ホームページ、パンフレット配布、院内サイネージによる健診及びドックの受診等の情報発信	○ホームページ、パンフレット配布、院内サイネージによる健診及びドックの受診等の情報提供	看護部 総務
		蓮田病院	※特定保健指導の実施 ※健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨、小冊子配布。	※特定保健指導の実施。	検診センター 経営企画室
		秋谷病院	○特定健診の実施	特定健診の更なる啓蒙活動や、受診者を増やす啓蒙活動の強化。	看護部 事務部
白岡中央総合病院	○院内パンフレット、ホームページの内容を改良。日曜乳がん検診を実施、駅・市役所・図書館・保健センターに、ポスターにて告知、受診者増となった。 ○看護の日・白岡祭り・健康相談・公開講座はコロナ自粛により中止。	○院内パンフレット、ホームページの充実。 ○看護の日や白岡祭り、または院内などでの健康相談や11月開催予定の公開講座で、病気予防への啓発。 ○健診有所見者に対し、専門外来の受診を案内し、早期治療による重症化予防を図る。	健康管理課		
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○北埼玉地区学校保健研究協議会（会長は当医師会会長）を通じ、北埼玉地区約17万人の小・中学校の健康教育（その中でも食育は重要教育）について運営、助言、講話を実施する。また医師会員は学校医の立場でそれぞれの学校保健委員会を通じて食育に関する指導を個々に行う。 ○食物アレルギーのある学童・乳幼児は救急時の対応からも積極的に「とねっと」への加入を勧める。	会長
		行田市医師会	講話を行っているが100%ではない	学校医が各校で講話を行う。	会長
		久喜市歯科医師会	○久喜市食育健康まつりへの参加（中止） ○学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での講話	○久喜市食育健康まつりへの参加 ○学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での講話	会員
		行田市歯科医師会	・学校歯科医師による小中学校講話	・学校歯科医師による小中学校講話	会員
		加須市歯科医師会	○小学校保健委員会で講話。講話を行っているが100%ではない	○小学校保健委員会で講話。	学校歯科医

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校等における食育等の推進	羽生市 歯科医師会	○小学校保健委員会で講話	○小学校保健委員会で講話	会 長
		行田市薬剤師会	講演中止。	行田市教育委員会や学校などで、食育の大切さについて働きかける。	会 長
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会 長
		羽生総合病院	○コロナ禍により医療講演は中止 ○広報誌などを活用し概ねその他は実施出来た	・地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。 ・訪問した際にアンケートを配布し良い点悪い点疑問点等の情報を収集しフィードバックを行っていく。	事業部 ・栄養科
		新久喜総合病院	○巡回健診における地域住民への生活習慣病に対する知識の普及 ○例年、健康まつり等にて栄養指導を含めた食育推進を実施していたがコロナ禍により未実施	○巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化	健康管理センター
		済生会栗橋病院	○食育セミナーに参加し、パネル展示、栄養相談等を通して食育の重要性について啓発した。	○食育セミナー等を通して、食育の重要性を啓発する。	栄養科
		蓮田病院	※公開講座等を予定→コロナ禍にて中止。	※ホームページにて健康セミナーの開催。	栄養科 経営企画室
		白岡中央総合 病院	○新型コロナの影響により未実施。	○地域住民を対象とした「食育」に関する講演会の実施。	栄養科
		羽生市食生活改 善推進員協議会	○親子お魚クッキング教室の実施→中止 ○親子おやつ作り教室の実施→中止 ○こども郷土料理体験教室 →中止 ○乳幼児健診時にレシピ本配布（1回、30名）	○小学生を対象とした親子料理教室の開催	健康づくり 推進課
		幸手市食生活改 善推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におよこ料理教室を開催。コロナウイルス感染症予防のため、自宅に資料等を送付し、親子で調理した写真を事務局に送付してもらい写真とコメントを市ホームページに掲載した。（冬休み開催、親子延べ29人）	○市内の小学生とその保護者を対象におよこ料理教室を開催（冬1日）	健康増進課
杉戸町食生活改 善推進員協議会	○小学生とその保護者を対象としたおよこ食育教室を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定中止。	健康支援課		

## 5 親と子の保健対策

(目標)

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	不妊に関する治療費等への支援や専門相談等の推進	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	市内産婦人科で行った	市内の産婦人科で行う。	会長
		行田中央総合病院	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	外来 (産婦人科)
		羽生総合病院	○概ね実施できた。	産婦人科を受診しやすい環境作りの為、院内掲示を掲載を継続し、サポートセンターなどで相談される際にも個室で相談に乗る等、利用する人にとってより良い環境で来院出来るように、また他の医療機関を紹介する際にはスムーズに照会できるように医療機関との連携を図っていく	産婦人科・サポートセンター
		山王クリニック	不妊、不育外来の予約体制を整備して、相談しやすい環境を整えた。	○埼玉県早期不妊検査費、不育症検査費助成事業の助成対象医療機関として支援を行う。	産婦人科
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	子供の心の健康に関する相談や情報提供の充実	北埼玉医師会	概ね計画通り実施した。	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	理事
		行田市医師会	校医が担当した。	校医が担当。	会長
		行田市 歯科医師会	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	会員
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会長
		行田中央総合病院	○小中学校における「命の授業」の実施、職員の派遣	○小中学校における「命の授業」の実施	産婦人科
		羽生総合病院	○概ね実施できた。	小児科より対象者の方へ院内臨床心理士によるカウンセリングへの紹介の推進を継続していく。	小児科・臨床心理士
		白岡中央総合病院	○受診時になどに、育児に関する不安・疑問について、適宜相談を行った。 ○希望者に対する健康診断の実施。	○育児の不安や疑問の解消(スキンケア等の乳児のお世話の仕方など) ○乳幼児健診希望者への健康診断の実施	小児科
		土屋小児病院	臨床心理士によるカウンセリングの実施(2回/週) 病児保育による育児支援(平日)	○臨床心理士によるカウンセリングの実施 ○病児保育による育児支援 ○発達障害児の診療や心理相談、小児神経外来等の専門外来の充実	臨床心理士 病児保育室 外来
		加須市 母子愛育連合会	遊びの広場を34回 参加人数1,025人、三世代交流会を10回 参加人数1,289人を実施した。	○遊びの広場や三世代交流会を開催	健康づくり 推進課



実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携強化による子育て支援	北埼玉医師会	コロナウイルスの影響で協議会は中止になったが、ほぼ計画通り実施できた。	○児童虐待の防止が一番の課題である。当医師会会長は約15年にわたり加須市要保護児童対策協議会の構成機関の中核として児童虐待に関する助言・指導を行ってきた。関係機関と更に一層の連携を計る。 ○当医師会立訪問看護ステーションは医療的ケア小児に対し、関係機関と連携し引き続き質の高い看護サービスを提供する。	会 長
		久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教の開催	○乳幼児歯科検診の充実 ○親子歯科教の開催	
		幸手薬剤師会	照会中	照会中	会 長
		羽生総合病院	○概ね実施出来た	例年同様、積極的に地域の連携会などへ参加していく。 また地域の医療機関へ積極的に連携会議などを行えるように推進・依頼していく。	地域連携室
		土屋小児病院	発達障害児支援のため久喜市との勉強会の開催	○発達障害児支援のため久喜市との勉強会の開催	発達障害外来
		白岡中央総合 病院	○各種予防接種施行	○小児予防接種の充実	小児科
		山王クリニック 山王ドーム クリニック	養育支援連絡票を用いて、地域と連携している。産後ケア事業を実施している。	○妊娠中から出産後まで、地域と連携し子育て支援を行う。	
		羽生市 母子愛育会 連合会	○保健センターの保健事業へ協力した→中止 ○市民福祉健康まつりに関して「赤ちゃんハイハイコンクール」を開催した→中止 ○家庭訪問にて高齢者（169件）や母子（63件）へ声かけ、赤ちゃん誕生訪問（99件）を行った。 ○各支部において研修会を開催した→中止 ○各支部においてコロナ禍でもできる事業を実施	○保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の測定補助） ○市民福祉健康まつりに関して「赤ちゃんハイハイコンクール」の開催 ○家庭訪問にて高齢者や母子への声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施 ○研修会の開催	健康づくり 推進課
		久喜市 母子愛育連合会	○各地区保健センターの保健事業への協力（回数36回、延べ75人）（乳幼児健診の補助等） ○地域の小学校に出向き、授業への協力（1回、延べ16人） ○研修会の開催（1回、14人）	○各地区保健センターの保健事業への協力（乳幼児健診の補助等） ○各地区まつりへ等の参加協力 ○子育て支援イベントの開催 ○地域の小学校に出向き、授業への協力 ○研修会の開催	中央保健 センター
蓮田市 母子愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問（年4回延553回）※令和2年度は新型コロナウイルス対策のため訪問を電話に変更している。 ○乳幼児健診未受診者への訪問※令和2年度は新型コロナウイルス対策のため未実施。 ○各地域において母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋掘り等）の開催（年4回103名参加） ○子育てフェスタ等への参加※令和2年度は新型コロナウイルス対策のため未実施。 ○研修会の開催（年2回）※令和2年度は新型コロナウイルス対策のため未実施。 ○連絡員全員が母子保健推進員の委嘱を受けて活動	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け訪問 ○乳幼児健康診査未受診者への訪問 ○各地区での母子で参加できるイベント（測定会、お茶会、七夕、ハロウィン、クリスマス会、豆まき、消防署見学、お芋掘り、公園で遊ぶ会、幼稚園サロン等）の開催 ○子育てミニフェスタ等への参加 ○研修会の開催 ○地域子育て支援拠点との連携	子ども支援課		

実施主体	主な取組	機関名	令和2年度取組実績	令和3年度実施計画	担当部署
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	関係機関の連携強化による子育て支援	幸手市 母子愛育会	○新型コロナウイルス感染症予防のため、事業中止となった。	○健康増進課の保健事業に託児協力 ○地域の小学校に出向き、「命の大切さ事業」を実施 ○健康福祉まつりに参加	健康増進課
		白岡市 母子愛育会	○保健センターの保健事業に協力 赤ちゃん広場実行委員によるマスク作り（親子セット38組） 幼児教室の実行委員による七夕・お月見・ハロウィン・節分の製作キット作り（各30セット） ○行政への事業協力（託児5回、班員11名）（班員45名で実施、手形取り参加者156名）	○保健センターの保健事業に協力 ・乳幼児健診 ・乳がん子宮がん検診 ○赤ちゃん広場実行委員による壁に貼れるキャラクター作り ○幼児教室等の開催 七夕・お月見・節分のキット作り ○家庭訪問による声かけ運動の実施	健康増進課
		杉戸町 母子愛育会	○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 254件 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー196個・母子手帳カバー配布 202枚配布 ○保健センター事業への協力 ・離乳食教室で保育協力 4回 ・ママパパ教室で技術協力 3回 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力 5回	○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 ○年2回 母と子のつどいを開催 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布 ○保健センター事業への協力 ・離乳食教室で保育協力 ・ママパパ教室で技術協力 ・骨粗鬆症・乳がん子宮がん健診会場において保育協力	健康支援課
医療機関 医師会 薬剤師会 各団体	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	計画通り実施した。	○加須市からの委託事業として、当医師会員による母親向けの出前講座「子供の急病時の対応」を引き続き年4回開催したい。適正受診に寄与することを期待する。	理事
		行田中央総合病院	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	○院内において適正使用についての呼びかけを行う。	外来
		行田総合病院	○計画通り、祝日の月曜日・金曜日の日中、月曜日・金曜日の夜間、第2・第4土曜日の夜間にて小児外来診療および小児救急診療の体制を維持し、実施した。	○小児救急医療支援事業への継続的参加	救急部門 医師
		羽生総合病院	計画通り実施した。	時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続していく。	小児科
		済生会栗橋病院	○東部北地区の二次救急輪番病院（小児）として役割を果たしている。	○出張市民講座やすこやか市民セミナー、小児救急医療勉強会の場を通じて、家族や学校保健師などを対象に、#7119または#8000などを利用できることを啓発する。	地域連携課
		土屋小児病院	計画通り実施した	○電話相談・トリアージの実施 ○久喜市休日夜間診療所の依頼による支援事業の実施 ○小児2次救急輪番の実施	外来
		蓮田病院	※ポスターによる子供医療電話相談事業（#8000）の情報提供。 ※会計窓口にカードサイズの#7199埼玉県電話相談の配布	※掲示物、配布物による情報提供	経営企画室
		白岡中央総合病院	○受診時の案内やポスター掲示により情報提供を行った。	○埼玉県救急電話相談（#7119）、こどもの救急「#8000」の案内を行い、休日・夜間における適正な小児科受診の啓発を行う。	小児科
		秋谷病院	○バックベットの事業の協力と中長期的な入院機能の継続を行った。	○中長期的な入院医療に対応できる病院機能を維持し、施設の入所とかかりつけ医療を提供できる体制拡充していく。	医療連携室